新・評議員より一言

3年1組　津田龍門

富士河口湖高校で過ごした三年間の中でたくさんのことを学び、多くの大切な人たちと出会うことができました。そして、かけがえのない思い出を作ることができ、充実した日々を送ることができました。大切な友だちと共に富士河口湖高校で過ごした三年間は大切な宝物です。これからはみんなそれぞれの道を歩んでいきます。この先、不安なことや辛いことがたくさんあると思います。その際には、三年間の経験を生かして、何事にも諦めずに全力で取り組んでいこうと思います。

3年2組　渡邉雄太郎

富士河口湖高校で過ごした日々はあっという間でしたが、とても充実した三年間を送ることができました。富士河口湖高校は私が大きく成長した場所です。また、成長したと同時に多くのことを学ぶことができました。特に私は部活動で、仲間との協調性の大切さや、自ら進んで行動するという主体性を学ぶことができました。富士河口湖高校で学んだ多くのことは、今後の私の人生において大きな役割を果たすと私は思います。私は、42期の評議員になったことを誇りに思いこれからも日々精進していきたいと思います。

3年3組　流石良河

富士河口湖高校で過ごした三年間で、多くのことを学び、毎日が充実した生活を送ることができました。部活動では、男子バスケットボール部に所属し、日々練習に励んできました。辛い状況もありましたが、仲間と共に乗り越えることができ、精神面でも成長することができました。

楽しく充実した高校生活を価値あるものにできたのは、家族の支えや、先生方そして、大切な仲間の存在であります。多くの人との出会いに本当に感謝致します。富士河口湖高校で得た経験を生かし、これからの人生を歩もうと思います。

3年4組　天野　蓮

富士河口湖高校に入学してからの三年間多くのことを学ぶことができました。その中でも特に、仲間の大切さを実感しました。一つの目標に向けて協力し、励まし合うことで、私を含めた42期生全員が、大きく成長することができたと思います。これからそれぞれの道にあゆんでいきますが、三年間で学んだことを忘れずに、新しい場所でどんなことでも積極的に挑戦していきたいです。そして、42期生全員が希望に満ちた未来へ向かっていけるように願っています。二十年後の同窓会で笑顔で会えるように頑張りましょう。

3年5組　武藤さくら

富士河口湖高校で過ごした三年間は、思い出で輝いています。私は勉強と部活動を両立させていく中で、大切な人たちと出会いました。周りを見れば、同じ目線に立ち、共に乗り越えてくれた仲間、常に温かく見守り、応援してくれた先生方や家族がいました。充実した日々を送ることができたのは、支えてくれた皆さんのおかげです。本当に感謝しています。新たな場所でも、三年間の思い出を心の糧とし、何事にも挑戦していきます。そして、再会した時、更に成長した姿で会えるように、一生懸命頑張っていきます。

旧・生徒会長より「生徒会本部として」

第43代生徒会長　渡辺翔栄

私は三年間生徒会本部として活動してきました。そして三年目には生徒会会長を務めました。しかし最後の一年はコロナウイルスの影響で生徒会行事もいくつか中止となってしまい、一年間ですべてやりきれたかといえば悔いが残る部分もあります。その分実施できることになった紫光祭は全力を尽くそうと思いました。例年と違う部分が多く準備はとても大変でしたが、生徒会本部の仲間と協力することでなんとか成功させることができました。紫光祭以外の場面でも今までと違ったからこそ経験できたことが多く、私が生徒会会長として過ごしたこの一年は大切なものになりました。

私はよりよい学校づくりに貢献したいという思いで生徒会本部に入りました。生徒会本部としての活動は大変でしたが、多くの事を学ぶことができました。この経験は必ず将来につながると思います。最後に、この富士河口湖高校で生徒会会長を務めたことを誇りに思います。本当にありがとうございました。

近況報告

おひさしぶりです

第23期　奥脇孝典

河高を卒業して早20年経ちますが、今でも自分が高校生に戻っている夢を見ることがあります。それだけ私にとってあの三年間は大きかったのだと思います。

私は卒業後上京し、8年間働いた後、イギリスへ留学しました。心細くなる時もありましたが、時々連絡をしてきてくれる仲間がいたことで、諦めずにがんばることができました。4年ほど前に帰国し、今では夢だった写真家として活動しております。

写真を始めたきっかけも、高校時代に仲間たちの写真を撮り始めたことでした。まだデジカメなんて持っていなくて、イッツモアの並びにあった写真屋さんに放課後よくフィルムを持っていっていました。MDに録音した流行りの曲を聴きながら、現像が終わるのを待っていた事を思い出します。

友人の多くは家庭を持ち、忙しそうにしておりますが、今でも帰郷した際には集まってくれて、高校時代と変わらず楽しい時間を与えてくれます。変わらずこうした付き合いができる事はとても幸せです。ちなみに僕は独身です。ステイゴールドです。なんちゃって。

紛う事なき私の青春だった河高の同窓会事業に携わる事ができて大変光栄です。こうやって集まれる機会もこれからそう多くはないかもしれません。このような機会を与えてくれた富士河口湖高校同窓会に深く御礼申し上げます。皆で協力し合い、素敵な同窓会にしたいですね。

アラフォーなんて言葉がなかった時代に、共に歩き、共に探し、共に泣き、共に迷い、共に願い、共に笑いあった、みんなとの再開を、今から心待ちにしております。

「同窓会を終えて」

第41回山梨県立富士河口湖高等学校同窓会総会実行委員長　渡辺伊作

2020年は、多くの方にとって忘れられない年になったことでしょう。

私共22期生同窓会実行委員会は、当初昨年7月に同窓会開催を予定しており、一昨年の11月頃から着々と準備を進めてまいりました。そんな中、新型コロナウイルスの感染が瞬く間に世界中に拡がり、日本国内においても緊急事態宣言の発令や、東京オリンピック・パラリンピックの延期など、さに未曾有の事態を経験することになりました。

当然ながら、同窓会の開催可否についても決断を迫られることとなりました。

総会に関しては、7月に役員の皆様と先生方、22期生からは私一人という最小限の出席者で臨時理事会が開かれ、それを以って総会に代わるものとさせていただきました。記念事業と懇親会に関しては、4月に無期限の延期を決定、その後4、8月に中止の決定をさせていただきました。

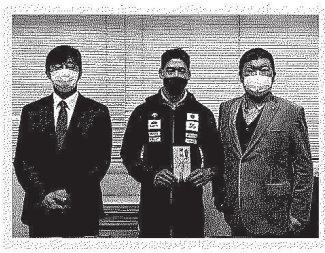
同窓会を心待ちにしてくださった皆様や、開催に向けてご協力いただいた皆様には申し訳ない限りではありましたが、寛大にご理解いただけたことを改めて感謝申し上げます。

幻と消えてしまった第41回同窓会ですが、私共22期生にとっては、ひとつ大きな挑戦がありました。それは記念事業において、〝例年通りの著名人による講演会ではなく、22期生の手で直接的に地域に貢献できる事業を行う〟というものでした。議論を重ねた結果選んだ事業内容は、『不法投棄現場の清掃活動(鳴沢村)』で、同窓生のご家族の参加も視野に入れて計画しておりました。文字数の都合上ここで詳細に触れることは控えさせていただきますが、きっと参加者の中にも何か有意義なものが残る事業になっていただろうと自負しております。

懇親会も含めてですが、公式な同窓会という形でなくとも、いつか同窓生で集まってこれらを実現できる日が来ることを願っております。最後になりますが、活動に関っていただいた全ての皆様、本当にありがとうございました。

28期生 藤嶋大規君が東京オリンピックに出場します

ロンドンにつづき2度目のオリンピック大会で、カヌー男子スプリント競技に出場する予定です。同窓会より激励の言葉とともに、奨励金を贈呈しました。ご活躍を期待します。



コロナによる活動制限の中でも頑張りました！ 母校部活動報告

令和2年度

各部の主な成績

野　球
全国大会県予選　3回戦進出

ラグビー
全国大会県予選　2回戦進出

バスケット男
選手権大会県予選　ベスト8

バスケット女
選手権大会県予選　出場

バレー男
県夏季大会　出場

ソフトテニス男
県夏季大会(個人)　5位

ソフトテニス女
県新人大会(団体)　4位
県新人大会(個人)　ベスト4

卓　球
県新人大会(団体)
女子2回戦進出

漕艇男
全国高校特別大会
(シングルスカル/ダブルスカル)出場
関東選抜大会　ダブルスカル3位

漕艇女
全国高校特別大会
(舵手付きクォドルプル)出場

サッカー
選手権大会県予選　3回戦進出

剣道男子
県夏季大会(団体)　3位
全国選抜県予選(団体)　3位

剣道女子
全国選抜県予選(団体)　5位

陸　上
県夏季大会　女子走高跳6位

ソフトボール
県新人大会　2回戦進出

カヌー
県夏季大会　各種目1位
日本カヌースプリントジュニア選手権大会
少年男子カナディアンシングル
1000m/500m　3位

弓　道
郡内大会　女子団体
優勝・準優勝

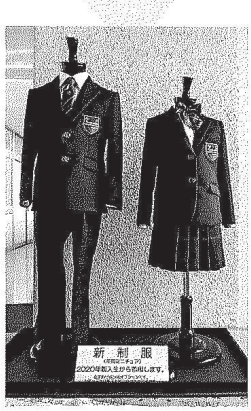
放　送
県下高校放送コンテスト
朗読部門3位/
アナウンス部門6位

吹奏楽
県アンサンブルコンテスト　銀賞
県管打楽器ソロコンテスト
木管の部1位

美　術
県芸術文化祭美術工芸部門　出品

文　芸
県芸術文化祭文学部門　参加

茶　道
県芸術文化祭茶道体験
作文コンクール　参加

写　真
県芸術文化祭写真部門　参加

制服変わりました